

申込み期限 令和6年9月19日(木)

令和6年度大分県ドローン協議会 研修会(第1回)のご案内

大分県ドローン協議会では、意欲のある県内ドローン関連企業を支援し、ドローン産業を本県における新たな成長分野として育成することを目的に研修会を開催します。

本年度第1回となる研修会では、公益社団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構 福島ロボットテストフィールド(RTF)副所長 若井 洋氏を講師にお招きします。若井副所長は、株式会社SUBARUにおいて各種の有人・無人航空機の研究・開発・設計に従事し、航空法認定事業場最高責任者も務められました。ジャパンモビリティショー2023において同社が発表したエアモビリティにも関わっており、ご経験を活かし、ドローンの社会実装を進める福島県において、国家戦略特区「新技術実装連携“絆”特区」指定にも、ご尽力されました。

航空業界と国内ドローン研究の要であるRTFで培ったご見識を踏まえ、RTFの活動紹介に加え、**「新技術実装連携“絆”特区」の活用とドローンの社会実装に向けたインフラ整備や特区規制緩和の効果についてご講演いただきます。**

皆様のご参加をお待ちしております。

【若井 洋氏のご紹介】

株式会社SUBARUにおいて、各種の有人・無人航空機の研究・開発・設計に従事。専門技術分野は航空機の構想設計及び空力設計。また研究部長として技術開発戦略の策定と実行、各種研究実験設備の計画・導入に携わる。その後、同社にて航空法認定事業場最高責任者として、航空機の設計・製造、修理改造の認定事業業務を統括し、新型ヘリコプターの型式認証・製造認証取得を統率。同社の執行役員 航空宇宙カンパニー ヴァイスプレジデントを経て、2023年4月より現職。



開催概要

日時 令和6年9月20日(金) 10:20~11:20

場所 大分県立美術館(OPAM) 2階 研修室(住所:大分市寿町2番1号)

演題 ドローンの社会実装に向けた福島ロボットテストフィールドの活動と福島県の取り組み

講師 公益社団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
福島ロボットテストフィールド副所長 若井 洋氏

※本研修会が開催される大分県立美術館(OPAM)では、1階にて「第83回大分県発明くふう展」及び「enjoy!ドローンフェスタ」が開催されていますので、併せてご参加ください(参加無料・事前申込不要)。

お申込み方法

以下URL(大分県スマート申請)からお申込み下さい。
(複数名で受講される場合も、必ず1名ずつお申込みください。)
<https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/surveys-alias/kensyu1>



左記Rコードからも
お申込みいただけます。
(QRコードは(株)デンソー
ウェブの登録商標です)

お申込み〆切:令和6年9月19日(木) 17:00

お問合せ先

大分県ドローン協議会事務局(大分県商工観光労働部新産業振興室) 担当:山崎
TEL:097-506-3273(直通)